

# 陰陽学説

<p><b>A.対立と互根</b> = (相互依存) = 互根の理論</p>	<p>・ 陰陽の属性は相対的であり、一方の存在は必ず他方の存在によって成り立つ。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>対立</b>：陰陽は<b>反対の性質</b>を持っている。 (例: 昼は明るく、夜は暗い)</li><li>■ <b>互根</b>：陰陽は<b>互いに支え合って存在</b>している。 (例: 昼があるから夜が成り立ち、夜があるから昼が存在する)</li><li>■ <b>依存</b>：陰陽は<b>互いになくっては成り立たない関係</b>にある。 (例: 昼も夜もお互いが存在しなければ、それぞれの概念が意味を失う)</li></ul> 
<p><b>B.対立と制約</b> 陰陽制約</p>	<p>・ 陰陽は対立しながらも互いに制約し合い、バランスを維持している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>制約</b>：陰陽が<b>互いを制約し合う</b>ことで、<b>過剰や不足を防ぎバランスを保つ</b>働き。 (例: 昼が長くなれば夜は短くなり、どちらかが完全に消えることはない。)</li></ul> 
<p><b>C.消長と転化</b></p>	<p><b>陰陽消長 (消長平衡)</b> = 盛衰の理論</p> <p>・ 陰陽は<b>量的</b>に増減し、<b>継続的に変化</b>する。= 周期的な<b>リズム現象</b>(1日、1年の変化)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>消長</b>：陰陽が<b>増えたり減ったりしながらバランスを取る</b>プロセス。 (例: 夏は昼が長くなり夜が短くなる。冬は昼が短くなり夜が長くなる) <small>【陰虚すれば陽実し、陽虚すれば陰実す】</small></li></ul> 
<p><b>陰陽転化 (相互転化)</b> = 転化の理論</p>	<p>・ 陰陽は<b>質的</b>な変化を伴い、<b>極限に達したときに転換</b>が起こる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>転化</b>：陰陽が<b>極限(重なり、極まり)に達したときに互いに入れ替わる瞬間</b>の変化。 (例: 真夜中の暗さが最も深まると夜明けが始まる) <small>【陰極まれば陽となり、陽極まれば陰となる】</small></li></ul> 
<p><b>D.陰陽可分</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>可分</b>：陰陽に分けられることであり、条件によって<b>細分化</b>できる。 (例: 光は太陽と月、月は満月と新月。) 「陰中に陽あり、陽中に陰あり」</li></ul> 